### **SAStruts**

### 基本形

### HelloWorld

ルートパッケージ名の設定

WEB-INF/classes/convention.dicon

の

```
<initMethod name="addRootPackageName">
    <arg>"hogehoge"</arg>
</initMethod>
```

でルートパッケージ名を設定

### プログラムの配置

以下のファイル名、パス名を合わせることでアクション、フォーム、ビューが結びつく。

アクションクラス

WEB-INF/src/ルートパッケージ /action/Action.java

フォームクラス

WEB-INF/src/ ルートパッケージ /form/Form.java

ビュー

WEB-INF/view//hoge.jsp

helloWorld の最初の1文字が小文字になることに注意!

ソース

アクションクラス

フォームクラス

ビュー

helloWorld/hoge.jsp

注意

IllegalAutoBindingPropertyRuntimeException

が出る場合は、クラス名とバインドする変数の名前があっていないことがある。

HelloWorldForm helloWorldForm;

のように、クラス名の最初の1文字を小文字にした変数名を使う。

# デプロイの種類と設定

デプロイの設定は

env.txt

で行う。

#### デフォルトは、ct。

種類	動作	用途
ct	リクエストのたびに、必要なコ ンポーネント「だけ」再デプロ イ	結合テスト
ut	warm deploy。アプリの変更を hot には認識せず、且つアプリ 起動時に全デプロイも行わな い。	単体テスト
it	cool deploy。アプリ起動時に全 デプロイを完了する	本番
env.txt なし	it と同じ。	it と同じ

# ログ

http://www.nurs.or.jp/~sug/soft/log4j/log4j2.htm

http://sastruts.seasar.org/fileReference.html

WEB-INF/classes/log4j.properties ファイルでログの出力を決める。

log4j.category.org.seasar=DEBUG, C
log4j.additivity.org.seasar=false
log4j.category.tutorial=DEBUG, C
log4j.additivity.tutorial=false

テスト用は DEBUG になっている。 リリース時は、

warn

が無難かな。

# 本番と開発環境

本番と開発環境で以下の設定が違うはずなので気をつける

設定	開発環境	本番環境
デプロイの種類	ct, ut	it

ログ	DEBUG	WARN
DB 接続先	テスト環境	本番環境

# tomcat 起動時に一回だけ処理をする

http://treeapps.hatenablog.com/entry/20110831/p1

http://blog.mikuriya.biz/archives/171

### app.dicon に実行するクラスを追記する

#### 引数が欲しい場合は

## ファイルをダウンロードさせる

### パターン1

http://piyopiyocs.blog115.fc2.com/blog-entry-231.html

### パターン2

http://d.hatena.ne.jp/ooharak/20080911/1221144337

ResponseUtil.download(String,InputStream[,length]) を使う

#### パターン3

http://piyopiyocs.blog115.fc2.com/blog-entry-231.html